

2023年11月5日
11月第一主日礼拝式／聖餐式



「わが神わが主よ」

(マタイ 21:9)

あなたは

わが盾(たて) わが歌 わが砦(とりで)
平和のきみ ちからの神 永遠(とわ)の父

わが神 わが主よ

わが神 わが主よ

113 心に感謝をもちながら

心に感謝をもちながら

主の庭(にわ)に入ろう

新しい日は主がつくられた

ともに喜び歌おう

賛美しよう 感謝しよう

ともに喜び歌おう——

賛美しよう 感謝しよう ともに喜び歌おう

新聖歌17番 「主をほめよわが心」

- 1 主をほめよわが心 いまわの時まで
わが生きる日の限り 主をたたえまつれ
この身とたましい 賜(たま)いし御神を
ハレルヤ！ ハレルヤ！
- 2 たじろがぬ心もて ヤコブの頼(たの)みし
いける神 仰(あお)ぐこそ げに幸いなれ
こよなき励まし 受くるぞうれしき
ハレルヤ！ ハレルヤ！

【次】

新聖歌17番 「主をほめよ わが心」

3 天地(あめつち)ともの皆を 造らせたまいし
わが神の御誓(みちか)いは
ことごと果たされん
世界をこぞりて いざ主に仕えよ
ハレルヤ！ ハレルヤ！

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌112番 「カルバリ山の十字架」

- 1 カルバリ山の十字架(じゅじか)に付きて
イエスは尊(とうと)き 血潮(ちしお)を流し 救いの道を
開きたまえり カルバリの十字架(じゅじか) わがためなり
* ああ十字架(じゅじか) ああ十字架(じゅじか)
カルバリの十字架(じゅじか) わがためなり
- 2 かくも妙(たえ)なる 愛を知りては 身も魂(たましい)も
ことごとささげ ただ憐(あわ)れみに すぎる他(ほか)なし
カルバリの十字架(じゅじか) わがためなり
* (くりかえし)
- 3 イエスよ血潮を われに注ぎて 今よりわれを
きよき宮(みや)とし 永遠(とこしえ)までも 住まわせたまえ
カルバリの十字架(じゅじか) わがためなり
* (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン